



アクティブ VOL.25 ACTIVE

発行
おさだ進治事務所
海老名市大谷北 1-5-27
Tel: 046-236-0505
Fax: 046-236-0508
osada@osadashinji.com

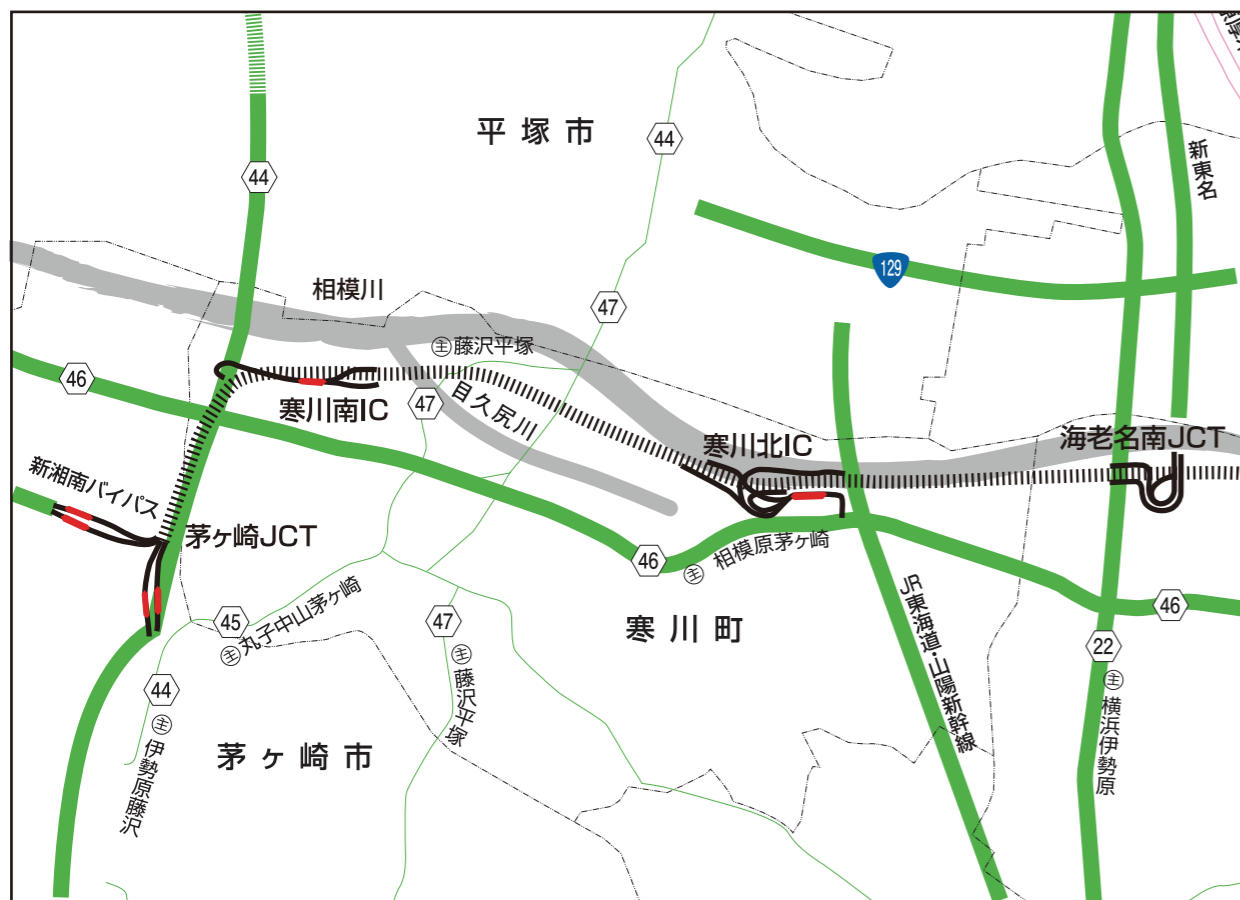
2013年2月15日 ※ 神奈川県議会議員 <http://osadashinji.com> **おさだ進治**

開通間近 相模縦貫道

海老名 IC～相模原愛川 IC
寒川北 IC～茅ヶ崎 JCT この春

相模縦貫道路、海老名インターチェンジ (IC) の開通から早いもので3年、いよいよ北に向かって厚木愛川 IC までの区間と、寒川北 IC から新湘南バイパスを結ぶ区間がこの春開通致します。これまで海老名 IC では朝夕の時刻に乗り降りの車輛による渋滞が発生しておりました

が、これによって緩和が期待されます。また、寒川北 IC は海老名市門沢橋地区から車で数分の倉見地区に開通し、すでに開通している新湘南バイパスで藤沢市の辻堂地区へ、そしてその先の横浜新道へと直結し、湘南、横浜方面への新たなルートが開通することとなります。



相模縦貫道の今後

来年の今ごろ (平成 26) にはこの道路はさらに北に向かって開通し、中央高速道路に八王子 JCT で接続します。さらにその先の道路はすでに完成している区間だけでも関越道へ、続いて東北道へと直結してまいります。こうして関東一円を大きく結ぶ環状線の道路全体を圏央道と呼びます。

● 高速道路の有効活用を!

日本一の売り上げを誇る海老名サービスエリア (SA) を始め、相模縦貫道に開設される SA には毎日多くの方が訪れます。ここでは地元の物産を販売したり、神奈川の観光ピーアールなどを行うことができます。また、今回完成する圏央道は耐震性に優れていることから、大規模災害の際には物資や人が人を運ぶライフラインとして活用できます。そこで、県を超えた埼玉県や茨城県などの自治体と県内の自治体が相互に救援しあうなど、ただクルマが走るだけではない高速道路の活用について私は県議会初当選時から一貫して県に求めています。この点については私は昨年 12 月の県議会で代表質問でも取り上げました。その様子は神奈川県議会のホームページから動画で見て頂くことができます。
(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/gikai/>)

神奈川県議会 「神奈川県議会」で検索してください。

● 海老名を取り巻くこの 8 年

この先 2 年ほどの間に相模縦貫道路が全線開通してまいります。その後は・・・同じ平成 27 年には海老名駅西口地区に大型商業施設の「ららぽーと」が開店し、同時期に相鉄線が渋谷に直通します。そして 28 年度には新東名高速の海老名～厚木間が部分開通し、29 年に東名高速道路の綾瀬インターチェンジが開通する予定です。更に平成 32 年の新東名高速全線開通へ・・・この 8 年ほどの間に海老名をとりまく都市環境はダイナミックに変化しま

す。ただし、その分環境が悪化し犯罪が増えるというようなまちづくりであってはなりません。発展と同時に住環境の保全や治安の維持など、こうした面からも県政の場でしっかりと取り組んでまいります。



対談「日本の医療を救え!!」 しまむらだい おさだ進治 & 島村大

医療費の増加、医師・看護師の不足、救急搬送のたらい回し、今日本の医療が危ないと言われて
います。そこで今回は歯科医師として活躍され、日本の医療行政に多大な影響力を持つ島村大氏
を訪ねお話を伺って参りました。

(長田) こんにちは、今日は日本歯科医師連盟の理事長をされていた島村大(だい)さんから日本の医療のことなどについてお話を伺いたいと思います。島村さんよろしくお願ひします。

(島村) はい、こちらこそよろしくお願ひします。

(長田) 早速ですが島村さんは千葉県のお生まれで23年前に横浜の保土ヶ谷で歯科医院を開業されたとお聞きしていますが、これまでの生い立ちについて伺えますか？



(島村) はい、おっしゃる通りで私は千葉県で獣医を営む父の元に生まれました。医業という意味では似ていますが縁あって歯科医師となり、なじみの深かった神奈川にて開業しました。

(長田) なぜ神奈川だったのですか？

(島村) 私は若いころマリンスポーツが好きで(笑)、サーフィンやウィンドサーフィン、ヨットなんかもやって、それがいつも湘南の海だったんです、葉山とか・・・で、この神奈川の自然や鎌倉なんかの歴史があり、その反面横浜の都会的な雰囲気があったりするところが大好きで、迷わず神奈川に開業しました。

(長田) なるほど・・・歯科医としては日本歯科医師連盟の理事長をされるなど歯科医業界を代表して日本の医療制度の問題に取り組まれたそうですが、主にどのようなことをされたのでしょうか？

(島村) 日本では医療全体のために毎年12兆円の税金をつぎ込み、それが年々増加しています。財務省を始めとする行政としてはどうしてもこの予算を少なくしたいと考えるわけですが、患者さんの窓口負担を増やすなど、無理なことをすれば患者さんが受診を控えるようなケースが増え、かえって病気を重症化させて医療費がかさむようなことになりかねません。この点について問題提起してきました。

(長田) なるほど、患者さんが病院の窓口で負担する金額が増えると病院へ行くのをためらうようなケースというのはどれくらいあるのですか？

(島村) 厚労省の持っているデータでは窓口負担無しと窓口負担三割とではおよそ40%の方たちが受診を控えるというデータがあります。私自身が日本の医療を診療所の窓口から見えてきてこれを実感しています。

(長田) そうですか、では実際に医療費も抑制しなければならぬ中で、島村さんはどうやって国民の健康を守って行こうとお考えですか？



(島村) それはズバリ言って国民の健康寿命を延ばすということに尽きると考えています。

(長田) 健康寿命というと、どういうことですか？

(島村) 人が死亡するまでの年月を寿命と言いますが、自分で自立して生活できる状態を健康寿命と言います。それで、言わば健康でない状態になってから生命が尽きるまでの時間が長ければそれだけ医療費がかかるわけで、私は国民の人生の中でこの健康寿命を長くし、不健康な状態を短くすることが医療費を少なくする決め手だと思っています。

(長田) なるほど、でも国民の皆さんは皆健康であり続けたいと思っているでしょうし、病気になれば医者にもかかると思いますが、どうやってそれを実現されるお考えですか？

(島村) それは予防の充実です。私は歯医者をしていましたので、歯や口が健康で食べ物をしっかりと噛んで食べることが病気予防の第一歩だと考えますが、医師の方たちなども診療の中で例えば過度に肥満されている方など「今のうちに何とかしなければ。」と思うような方



たちと日々出会っています。でもそれがまだ病気と認定できる状態でなければ診療や医療保険の対象とならず、一生懸命説明したりアドバイスするのですが、効果には限界があります。

(長田) つまり予防の分野にも医療保険が適用されるようにするということですか？

(島村) はい。それも大切です。

(長田) なるほど、そもそも医療費がどんどんかさんでいる原因はどこにあるのでしょうか？



(島村) やはりそれは高齢化によるところが大きですが、他にも例えば医療の高度化が医療費の増加を招いています。医療が高度化することは国民にとって良いことですが、私は国民皆保健制度を是が否でも守って行きたいと思っ

ているので、一部のお金持ちだけが高度な医療を受けられるような社会にはしたくありません。医療の高度化を推進し、かつ多額な費用のかかる高度医療を国民が等しく受けられるようにするためにも、やはり病気を未然に防ぎ、病気になっても軽度なうちに治すことで医療費全体を圧縮することが大切です。特に70歳代前半の人たちは健康寿命の境目の人たちですので、この人たちの病院での窓口負担を増やす政策は、先ほども言ったとおり受診控えを招き、結果として病気を重くし、医療費を増加させるため、決して得策ではないと考えています。

(長田) なるほどそうですね、最後に医療のこと以外で神奈川県の皆さんのために貢献したいことがあればお聞かせ下さい。



(島村) 先ほども言いましたが、私が好きになって移り住んできた神奈川の魅力は自然や歴史、都市機能、港の異国情緒などなどたくさんあります。でも当の神奈川県民の皆さんはそれが身近すぎて案外気付いていないような気がします。私はこの神奈川の魅力を観光の面からも、あるいは企業誘致などの産業振興の面からもおおいに活用できるような活動をしたいと思っています。

(長田) そうですか、是非頑張ってください。今日はありがとうございました。

(島村) こちらこそありがとうございました。

インタビューの最中、常に背筋を伸ばし、誠実に答えようとされる様子に好感を持ちました。医療や健康保険の問題は複雑でなかなか私たちには分かりづらいことが多いので、こうした専門家に教えて頂く事が大事だと思いました。(長田)

島村大(しまむらだい)プロフィール



昭和35年8月11日(52歳)O型
●日本大学第二高等学校卒業 ●東京歯科大学卒業 ●卒業後は東京歯科大学歯科補綴学第三講座入局し、日立製作所茂原診療室、国保鳴川病院、国保国吉病院で歯科医療に携わる。 ●職歴：横浜ビジネスパーク歯科クリニック・銀座デンタルケアクリニック開業 神奈川県歯科医師連盟理事長(平成24年7月まで) 日本歯科医師連盟理事長(平成24年7月まで)
●自民党神奈川県参議院選挙区第3支部長就任 ●趣味：スポーツ全般、愛犬と散歩、音楽鑑賞 ●家族：妻と長女の三大家族 ●好きな言葉：初志貫徹

代表質問に立つ！ 県議会 平成24年第三回定例会 自民党代表 長田進治

今回は自民党県議団41名を代表して県政に対して質問に立ちました。

刑務所を出所した人たちの生活支援と犯罪の抑止を！

不幸にして犯罪に手を染め、刑務所などに服役した人たちはやがて刑期を終えて社会生活に復帰するわけですが、こうした方たちへの世間の風は冷たく、職業や住まいの確保は困難、その結果生活に困窮して再び刑務所に戻るために犯罪を引き起こすケースが多くあります。とりわけこれの方が高齢であったり、障害のある方のケースでは一年以内に再度罪を犯す割合が高齢者で49.3%。障害者では69.2%に上っています。県ではこ

うした方たちの生活を支援するため、2年前から「地域生活定着支援事業」に取り組んでいます。刑務所を出所する人に出所以前から相談にのり、出所後の住まいや職業、あるいは福祉施設への入所などを支援する取り組みです。私は犯罪の更なる抑制のためにもこの活動を一層強化すべきであると訴えました。もちろん知事もその必要性を認め、福祉分野との連携、法務省や保護司の皆さんとの連携など、今後の取り組み強化を約束してくれました。

